



京都市
CITY OF KYOTO



<報道発表資料>

(大学同時)

令和7年4月21日

京都市立芸術大学 共創テラス・連携推進課

取次：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

令和7年度でんおん連続講座「蔦屋重三郎と富本節」

この度、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターでは、でんおん連続講座を開催します。

今回は、江戸後期に活躍した版元・蔦屋重三郎と、常磐津節から分かれ全盛期を迎えた富本節について、鑑賞や本読みワークショップを通して作品に触れながら、その実像に迫ります。

講師所蔵の蔵出し資料、蔦屋製「富本節正本」「出語り錦絵」の展示も御覧いただきます。



芝居絵「三重櫓賭曙」大判錦絵、二枚続き（部分）／常磐津若音太夫 所蔵



京都市
CITY OF KYOTO



【概要】

- 日程 〈全 5 回〉
 - 1日目：令和7年6月 2日（月）メディアとしての詞章出版（テキスト概説）
 - 2日目：令和7年6月16日（月）稽古本の意義（各論）と本読みワークショップ
 - 3日目：令和7年6月30日（月）本読みワークショップ
 - 4日目：令和7年7月14日（月）二世富本豊前太夫と富本節の音楽性について
 - 5日目：令和7年7月28日（月）浄瑠璃本・錦絵の展示鑑賞とギャラリートーク
- 時間 各回とも 午後 2 時 45 分～4 時 15 分（午後 2 時 15 分開場）
- 場所 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム
- 対象 不問（未就学児童を除く）
- 定員 30 名（先着順）
- 受講料 5,000 円(全 5 回／一括)
- 申込 令和 7 年 5 月 12 日(月)午前 10 時から、本学ウェブサイトの当講座イベント情報 (<https://www.kcua.ac.jp/denonrenzoku2025tsutaju>) にて公開する専用申込フォームよりお申込みください。
(募集期間は 5 月 20 日(火) まで、ただし定員に達した時点で終了)
- 講師 竹内有一（日本伝統音楽研究センター教授）
- 企画 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
- 主催 京都市立芸術大学

<京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターについて>



京都芸大が平成 12 年に設置した、日本の社会に根ざす伝統文化を音楽・芸能の面から総合的に研究する国内唯一の公的研究機関

新たな要素を取り入れながら独自の様相を今日に呈している伝統文化が新たな文化創造の源泉となるよう、その根底にある文化構造を研究し、研究成果を広く伝えることにより、伝統的な音楽、芸能を中心とする研究分野における核となることを目指しています。

「でんおん連続講座」をはじめとする公開講座は、市民の皆様への還元を目的として開催しています。

<お問い合わせ先>

京都市立芸術大学 共創テラス・連携推進課

電話：075-585-2006